

# 参考データ集

# 国際石油開発帝石HD 売上高

## 原油

	07年3月期中間
原油売上高*(億円)	3,167

海外原油販売量(千bbl)	41,016
平均単価(\$/bbl)	66.56
平均為替(¥/\$)	115.45

国内原油販売量(千kl)	5.9
平均単価(¥/kl)	48,420

\*インドネシア国内供給義務を含む。

## 天然ガス

	07年3月期中間
天然ガス売上高(億円)	1.702

海外ガス販売量(百万cf)	159,931
平均単価(\$/千cf)	7.98
平均為替(¥/\$)	115.43

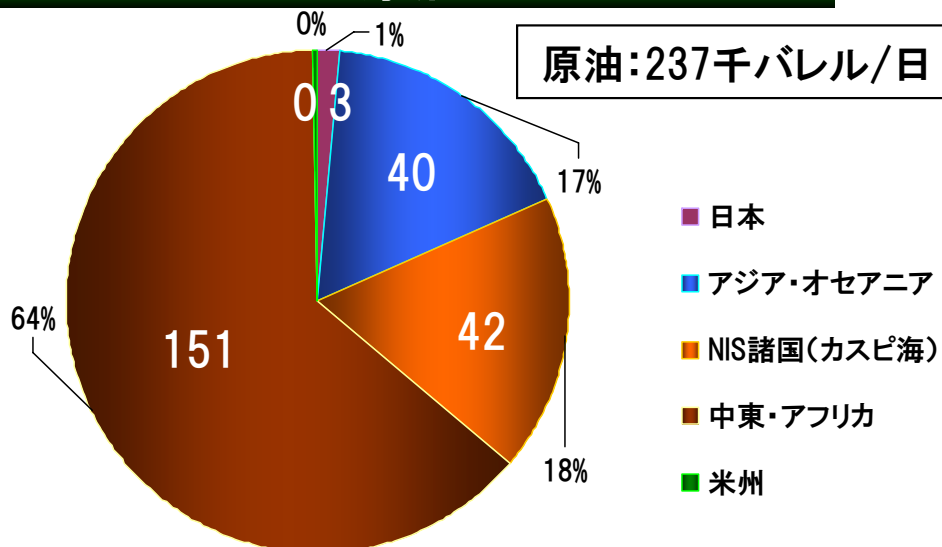
国内ガス販売量(百万m <sup>3</sup> )	530
平均単価(¥/m <sup>3</sup> )	34.48

海外LPG販売量(千bbl)	624
平均単価(\$/bbl)	48.60
平均為替(¥/\$)	115.75

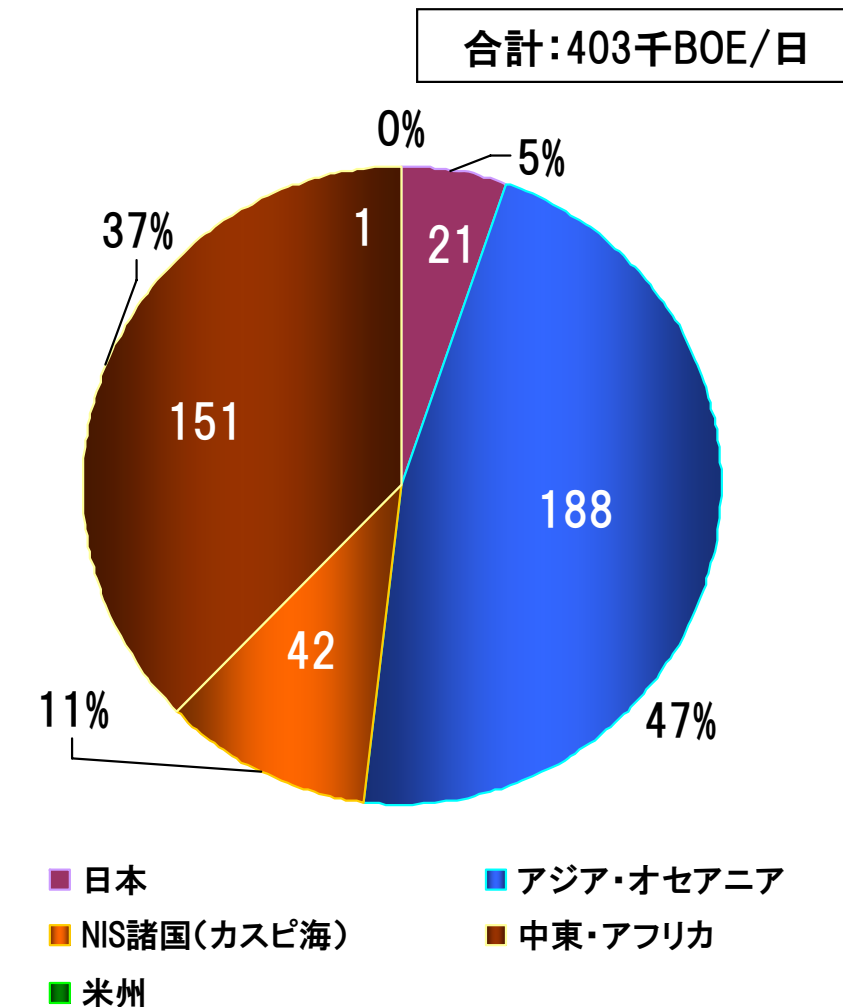
国内LPG販売量(千t)	6
平均単価(¥/kg)	181.38

# 国際石油開発帝石HD 生産量

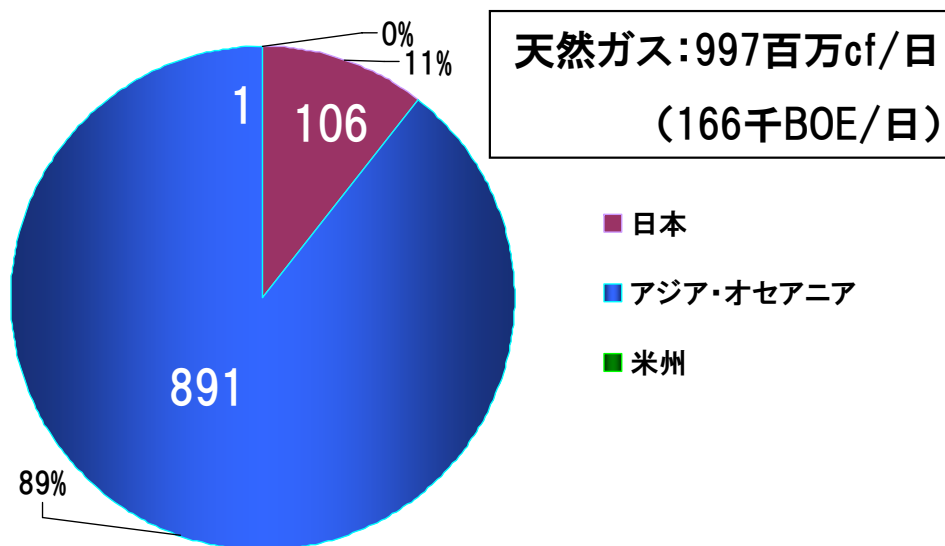
## 原油



## 原油・天然ガス合計



## 天然ガス



# 国際石油開発帝石HD

## 2007年3月期中間 EBIDAXの計算詳細

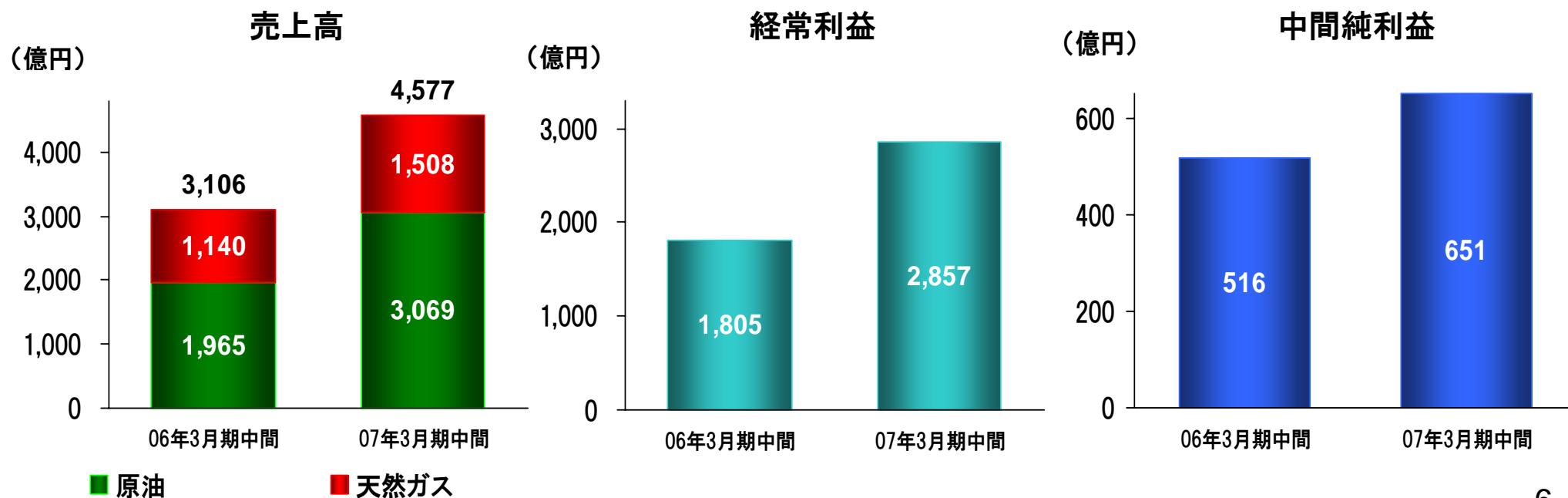
(百万円)		出所	備考
中間純利益	64,674	P/L	
少数株主損益	5,835	P/L	
<b>減価償却相当額</b>			
減価償却費	12,546	C/F	コンセッション契約及び販管費に係る減価償却費
のれん償却額	3,501	C/F	
生産物回収勘定(資本支出)の 回収額	55,848	C/F	PS契約に係る減価償却費
<b>探鉱費相当額</b>			
探鉱費	9,366	P/L	コンセッション契約に係る探鉱費
生産物回収勘定引当金繰入額	1,799	P/L	PS契約に係る探鉱費
探鉱事業引当金繰入額	2,672	P/L	PS契約に係る探鉱費
<b>重要な非現金項目</b>			
法人税等調整額	△8,778	P/L	
為替差損益	△670	C/F	
税引後ネット支払利息	△111	P/L	税引後の支払利息－受取利息
<b>EBIDAX</b>	<b>146,682</b>		

# 国際石油帝石HD 営業外収益・費用

(億円)	07年3月期 中間(4月～9月)
<b>営業外収益</b>	<b>118</b>
受取利息	60
受取配当金	11
持分法による投資利益	7
為替差益	14
その他	23
<b>営業外費用</b>	<b>163</b>
支払利息	59
生産物回収勘定引当金繰入額	17
探鉱事業引当金繰入額	26
その他	59

# 国際石油開発 2007年3月期中間決算ハイライト

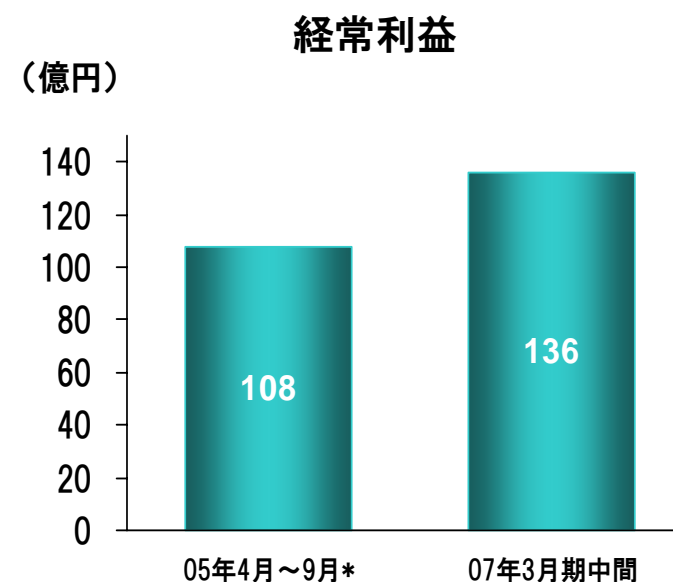
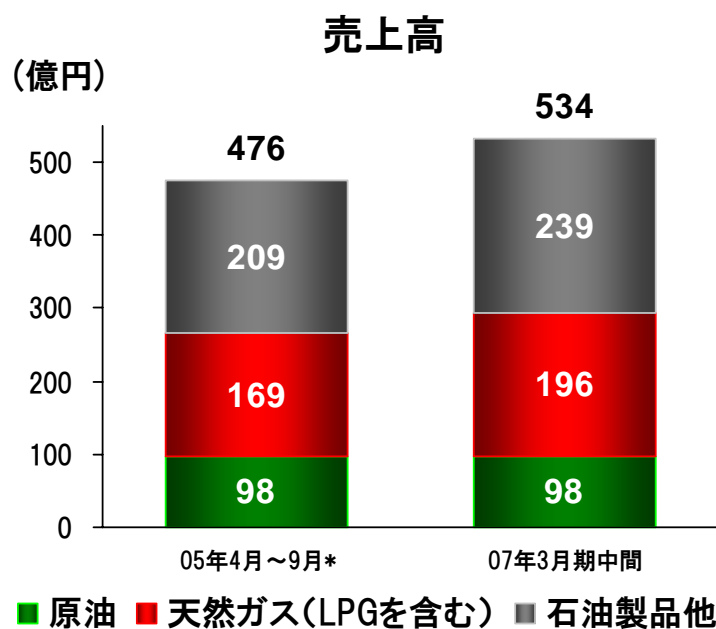
	06年3月期 中間(4月～9月)	07年3月期 中間(4月～9月)	増減	増減率
売上高(億円)	3,106	4,577	1,471	47.4%
営業利益(億円)	1,865	2,871	1,005	53.9%
経常利益(億円)	1,805	2,857	1,051	58.3%
中間純利益(億円)	516	651	134	26.1%



## 帝国石油

## 2007年3月期中間決算ハイライト

	05年4月～9月*	07年3月期 中間(4月～9月)	増減	増減率
売上高(億円)	476	534	57	12.0%
営業利益(億円)	93	145	51	55.2%
経常利益(億円)	108	136	28	26.6%
中間純利益(億円)	-	48	-	-



\*当該金額は2005年第3四半期(1～9月)から2005年第1四半期(1～3月)を差し引いた参考数値である。

# 国際石油開発 損益計算書

(億円)	06年3月期	07年3月期	増減	増減率
	中間(4月～9月)	中間(4月～9月)		
売上高	3,106	4,577	1,471	47.4%
売上原価	1,167	1,524	357	30.6%
探鉱費	25	91	66	262.3%
販売費及び一般管理費	47	90	42	89.0%
営業利益	1,865	2,871	1,005	53.9%
営業外収益	50	113	63	124.3%
営業外費用	110	126	16	15.0%
経常利益	1,805	2,857	1,051	58.3%
法人税等及び法人税等調整額	1,289	2,149	860	66.7%
少数株主利益	△0	56	57	—
中間純利益	516	651	134	26.1%



## 国際石油開発 営業外収益・費用

(億円)	06年3月期	07年3月期	増減	増減率
	中間(4月～9月)	中間(4月～9月)		
<b>営業外収益</b>	50	113	63	124.3%
受取利息	33	58	25	75.3%
持分法による投資利益	10	6	△4	△41.5%
為替差益	—	14	14	—
その他	7	35	27	398.6%
<b>営業外費用</b>	110	126	16	15.0%
支払利息	27	54	27	100.3%
生産物回収勘定引当金繰入額	3	15	12	388.5%
探鉱事業引当金繰入額	0	14	13	—
為替差損	74	—	△74	△100.0%
その他	5	42	37	728.0%

# 帝国石油 損益計算書

(億円)	05年4月～9月*	07年3月期 中間(4月～9月)	増減	増減率
売上高	476	534	57	12.0%
売上原価	268	281	13	5.0%
探鉱費	17	2	△15	△86.6%
販売費及び一般管理費	96	104	7	8.0%
営業利益	93	145	51	55.2%
営業外収益	17	24	7	43.7%
営業外費用	3	33	30	958.3%
経常利益	108	136	28	26.6%
法人税等及び法人税等調整額	—	86	—	—
少数株主利益	—	1	—	—
中間純利益	—	48	—	—

\*当該金額は2005年第3四半期(1～9月)から2005年第1四半期(1～3月)を差し引いた参考数値である。

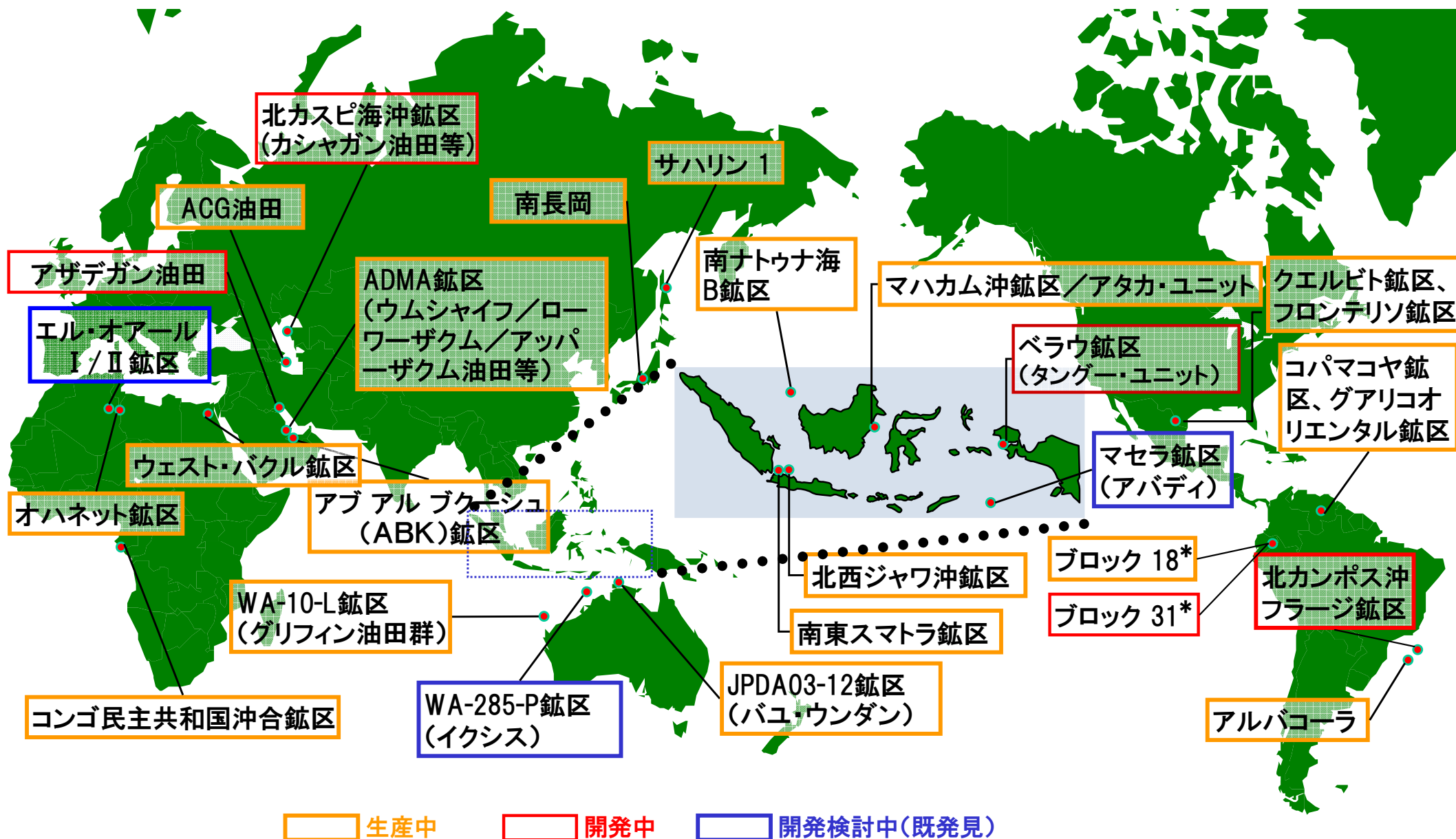
## 帝国石油 営業外収益・費用

(億円)	07年3月期		増減	増減率
	05年4月～9月*	中間(4月～9月)		
<b>営業外収益</b>	17	24	7	43.7%
受取利息	1	2	1	96.8%
持分法による投資利益	1	1	0	6.6%
為替差益	1	0	△0	△70.3%
その他	12	20	7	60.0%
<b>営業外費用</b>	3	33	30	958.3%
支払利息	2	4	2	107.0%
生産物回収勘定引当金繰入額	—	2	2	—
探鉱事業引当金繰入額	—	12	12	—
その他	1	14	13	1,129.7%

\*当該金額は2005年第3四半期(1～9月)から2005年第1四半期(1～3月)を差し引いた参考数値である。

**国際石油開発帝石ホールディングス  
プロジェクト参考データ**

# 主なプロジェクトの地理的位置



\* 権益移転に係る政府承認手続中であり、当該契約は政府承認を得た後、正式に発効する予定であります。

# 国内天然ガス事業 帝国石油



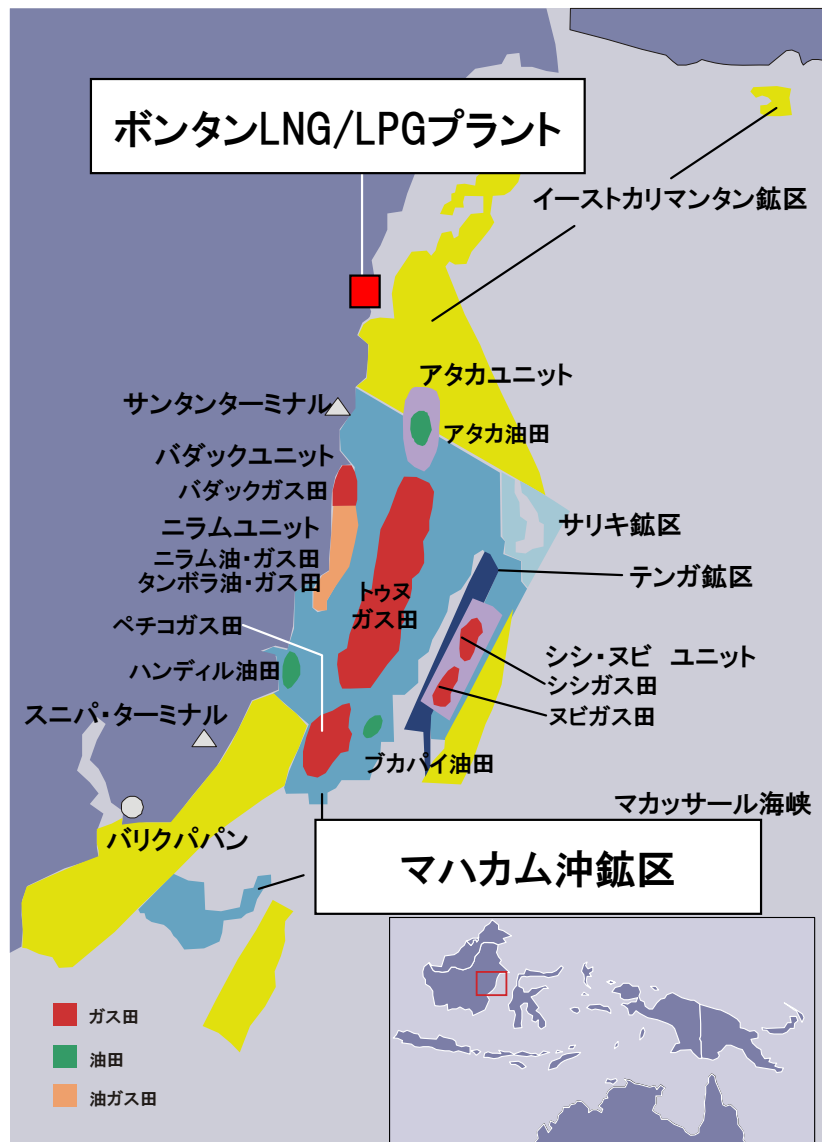
国内パイプラインネットワーク

- 生産量\*
  - 天然ガス：日量約3.3百万m<sup>3</sup>
  - 原油：日量約3.4千バレル
- 天然ガス販売量：年間12億m<sup>3</sup>への早期達成、さらなる拡販へ
- 南長岡ガス田(1984年生産開始)
  - MHF技術により北部開発を促進
  - 2006年末プラント処理能力増強
- 関東甲信越地域へのガス拡販を目的としたハイラインネットワークが完成形へ(総延長約1,400kmへ)
  - 静岡ライン(約80km:約220億円:2006年完成)
  - 南富士幹線(約30km:約27億円:2006年完成)
  - 新東京ライン延伸(約50km:約110億円:2007年完成)
  - 新青海ライン(約49km:約95億円:2009年完成)

## ■ 発電事業(2007年運転開始)

\* 国内油田・ガス田の合計(2006年9月)平均日産量

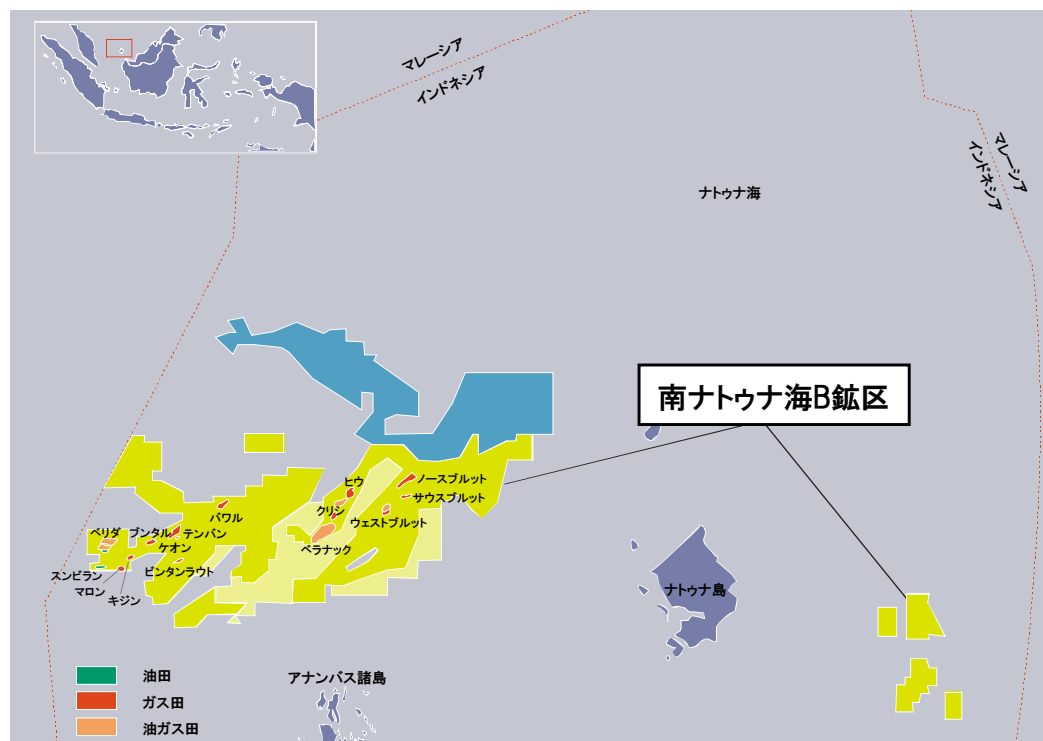
# マハカム沖鉱区 国際石油開発(INPEX)



注: \* 全鉱区ベース、2006年9月平均日産量

- 当社権益比率: 50%(オペレーター: TOTAL)
- 生産量\*
  - 原油: 日量約6万1千バレル
  - 天然ガス: 日量約26億立方フィート
- PS契約: 2017年まで
- ボンタンLNG基地へのガス安定供給を目的として開発作業を継続
  - トウヌ/ペチコガス田の段階的開発
  - タンボラ油・ガス田の追加開発
  - シシ/ヌビ ガス田の開発

## 南ナトゥナ海B鉱区 ナトゥナ石油

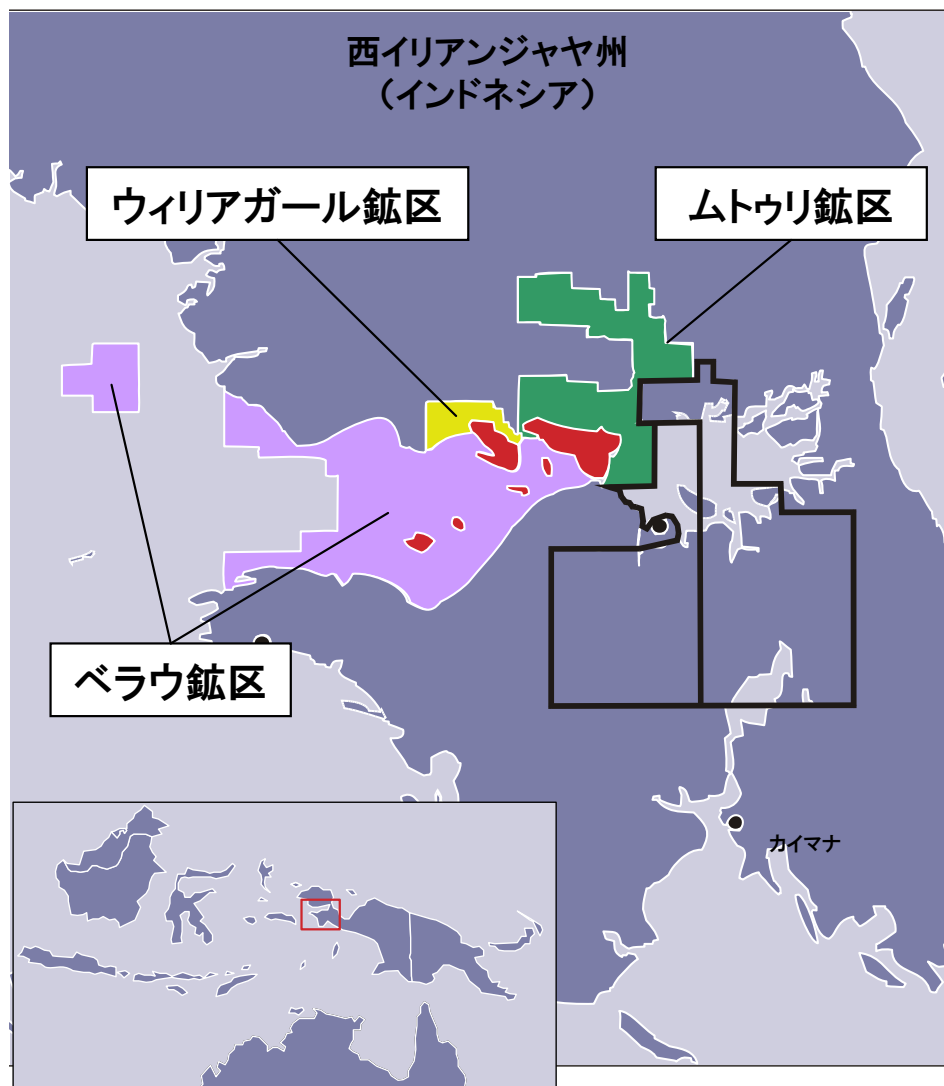


\* 全鉱区ベース、2006年9月平均日産量

- 当社権益比率: 35.0%(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量\*:
  - 原油: 日量約4万バレル
  - 天然ガス: 日量約3億9千万立方フィート
- PS契約: 2028年まで
- SembCorp社(シンガポール)と2001年より22年間、Petronas(マレーシア)と2002年より20年間の天然ガス販売契約締結
- 2004年12月ベラナック油ガス田生産開始
- ヒウガス田は2006年、クリシ油ガス田は2007年生産開始予定
- ノースブルットガス田、2009年生産開始予定



## ベラウ鉱区(タンゲーLNGプロジェクト)MI Berau B.V.



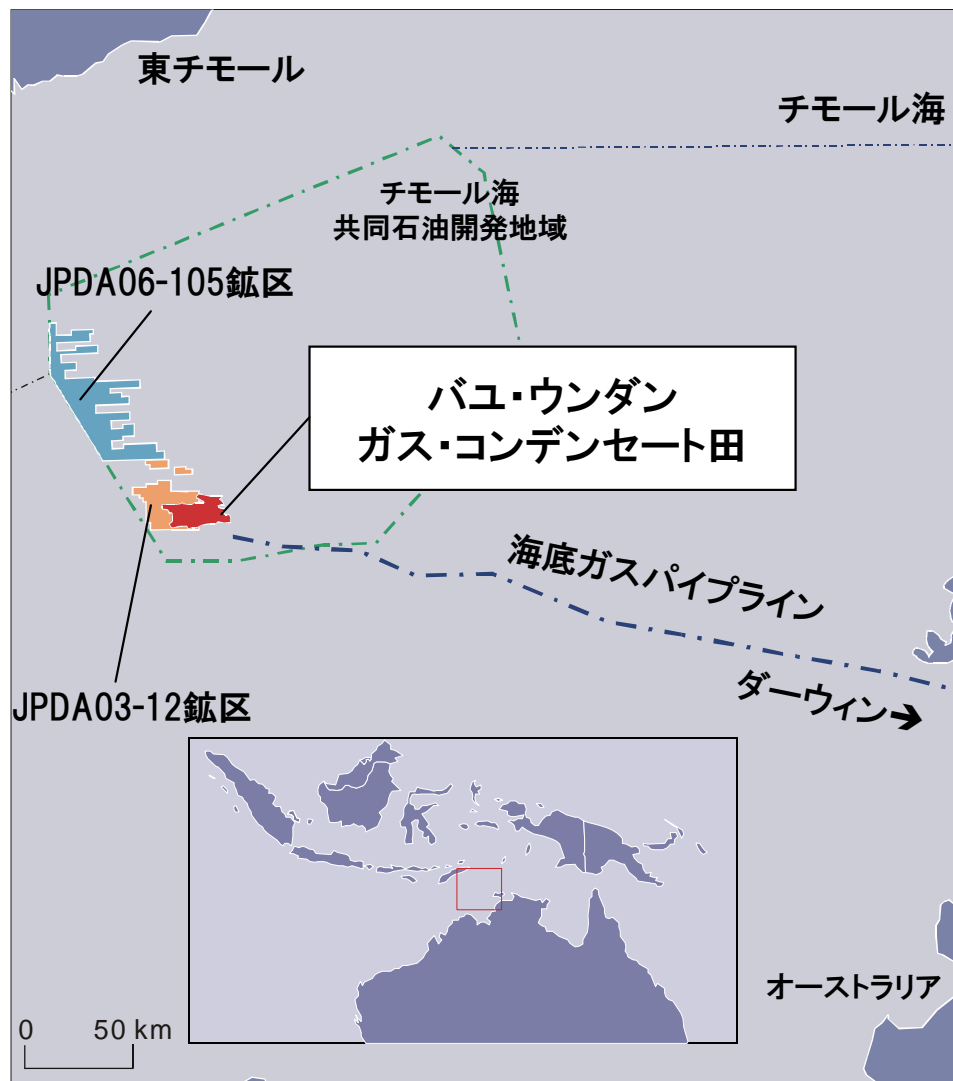
- MI Berau: 三菱商事とのJV(当社44%、三菱商事56%)
- MI Berauの権益比率
  - ベラウ鉱区: 22.9%(タンゲー・ユニット: 16.3%)(オペレーター:BP)
- PS契約: 2035年まで
- インドネシア政府より、開発計画、生産分与契約の延長についての承認取得
- 2006年8月にLNGプロジェクト開発費用として、総額約26億米ドルの融資契約を締結
- 建設中のLNGプラントは2008年後半生産開始予定
  - 年間760万トンのLNGを生産する計画
  - 中国福建省向けLNG長期販売契約を締結
  - 韓国POSCO社及びK-Power社とLNG販売契約を締結
  - 米国Sempra Energy社とLNG販売契約を締結

## マセラ鉱区(アバディ) インペックスマセラアラフラ海石油



- 当社権益比率: 100.0%
- オペレーター: 当社
- PS契約:
  - 探鉱期間10年間(2008年まで)
  - 開発・生産期間30年間(2028年まで)
- 2000年に試掘井アバディ1号にて天然ガスを発見
- 2002年に評価井2坑を掘削、アバディ構造が大規模ガス田であることを確認
- 2007年1Qに評価井4坑の掘削を開始予定
- 2008年に可採埋蔵量の第三者査定を取得予定

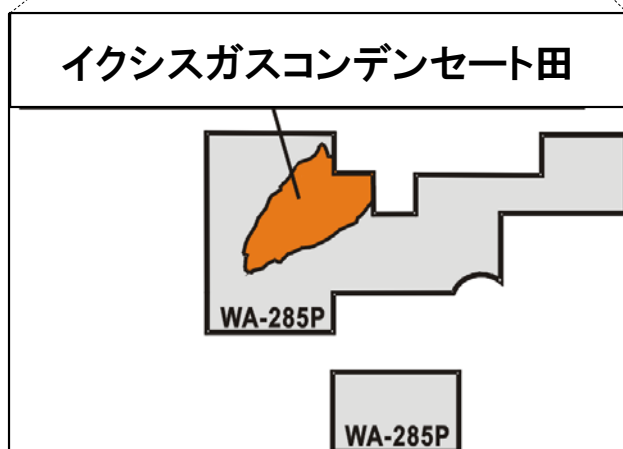
# バユ・ウンダン サウル石油



注： \* JPDA03-12(エラン・カカトウアを含む)全鉦区ベース、2006年9月平均日産量

- 当社権益比率: 10.53%(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量\*:
  - 原油・コンデンセート: 日量約7万3千バレル
  - 天然ガス: 日量約11億立方フィート
  - LPG: 日量約3万6千バレル
- PS契約: 2022年まで
- コンデンセート及びLPGの開発を目的としたフェーズ1については、2004年2月にコンデンセート/LPG販売開始
- フェーズ2はLNGプロジェクトであり、2006年2月にLNG販売開始
  - 2005年8月、東京電力/東京ガスとLNG販売契約締結(2006年から17年間、プラト一時年間300万トン)

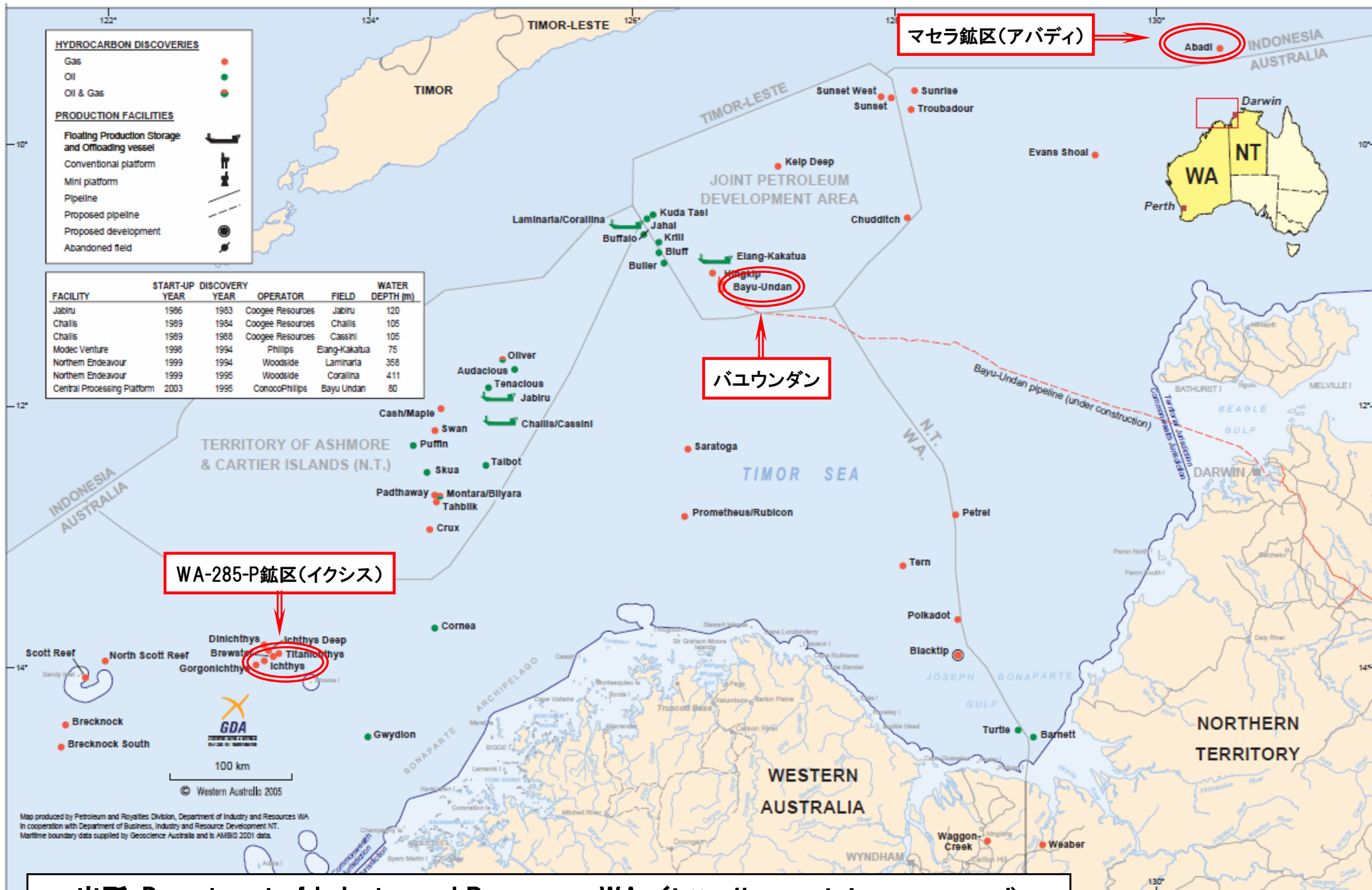
## WA-285-P鉦区(イクシス) インペックス西豪州ブラウズ石油



- 当社権益比率: 76.0%\*
- オペレーター: 当社
- 利権契約:
  - 探鉦期間 2009年9月まで
  - 生産期間 生産ライセンス付与から21年(延長可)
- 2000年より計6坑井を掘削し大規模天然ガス・コンデンセート田を確認、イクシス構造と命名
- 2006年5月、豪州連邦政府及び西豪州政府に対し、プロジェクトの環境影響審査手続きを開始
- 2006年8月、長期にわたり豪州経済発展に貢献するプロジェクトとして、豪州連邦政府が主要促進プロジェクトに認定
- 2012年のLNG生産開始を目標に開発検討作業を実施中。  
初期生産段階での生産・販売量はLNGを年間約600万トン、LPGおよびコンデンセートを日産約10万バレルを予定

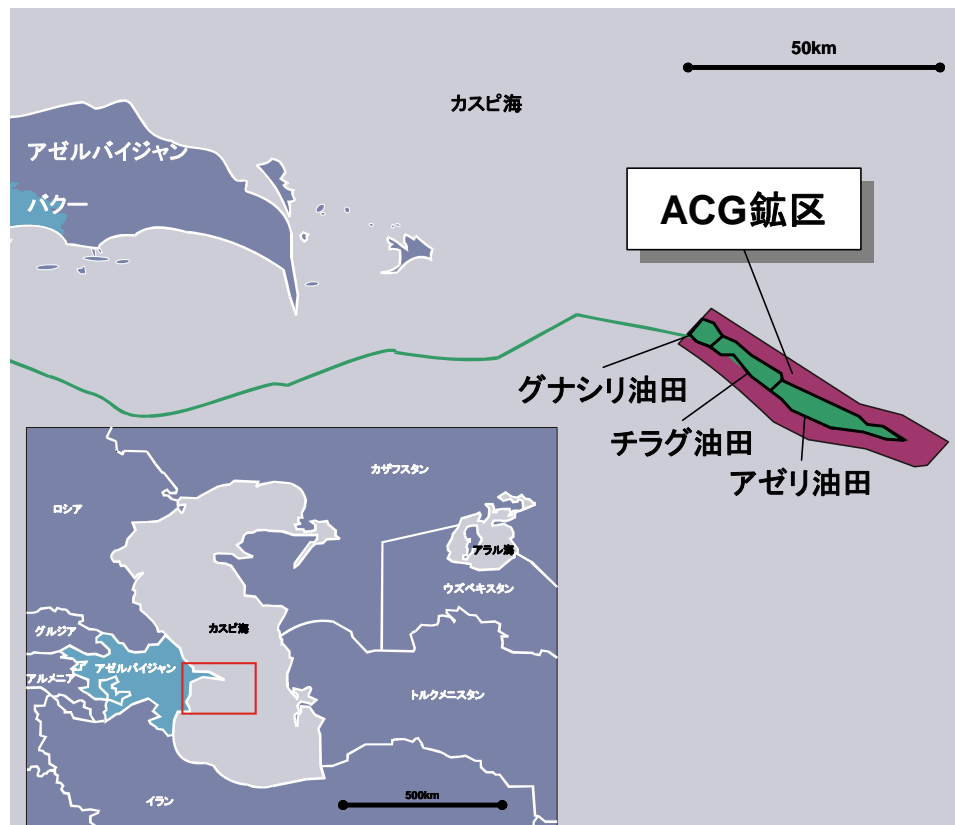
\* 豪州政府の承認を条件に、Total社へ24%の権益を譲渡予定。

# マセラ鉱区およびWA-285-P鉱区の位置



出所: Department of Industry and Resources, WA (<http://www.doir.wa.gov.au/>)

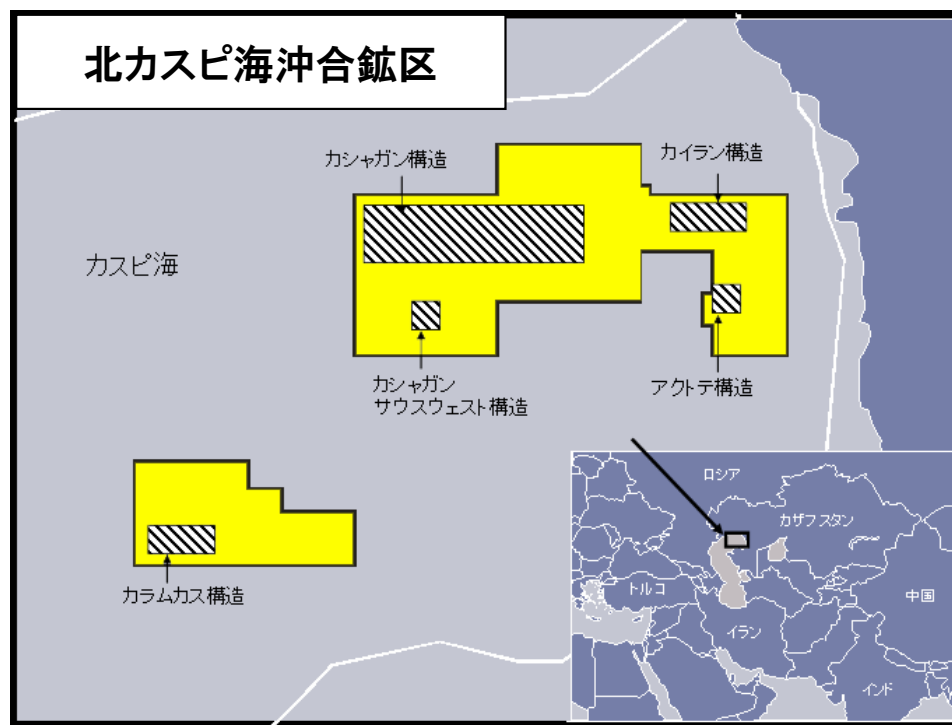
# ACG油田 インペックス南西カスピ海石油



注: \* 全鉱区ベース、2006年9月平均日産量

- 当社権益比率: 10.0%(オペレーター:BP)
- 生産量\*: 日量約53万2千バレル
- PS契約: 2024年まで
- チラグ油田は1997年に生産開始
- フェーズ1: アゼリ油田中央部は2005年2月に生産開始
- フェーズ2: アゼリ油田西部は2005年12月に生産開始、アゼリ油田東部は2006年10月に生産開始
- 今後、段階的に日量100万バレルまで増産予定
  - フェーズ3開発(グナシリ油田深海部 / チラグ油田西部):2008年第2四半期に生産開始予定

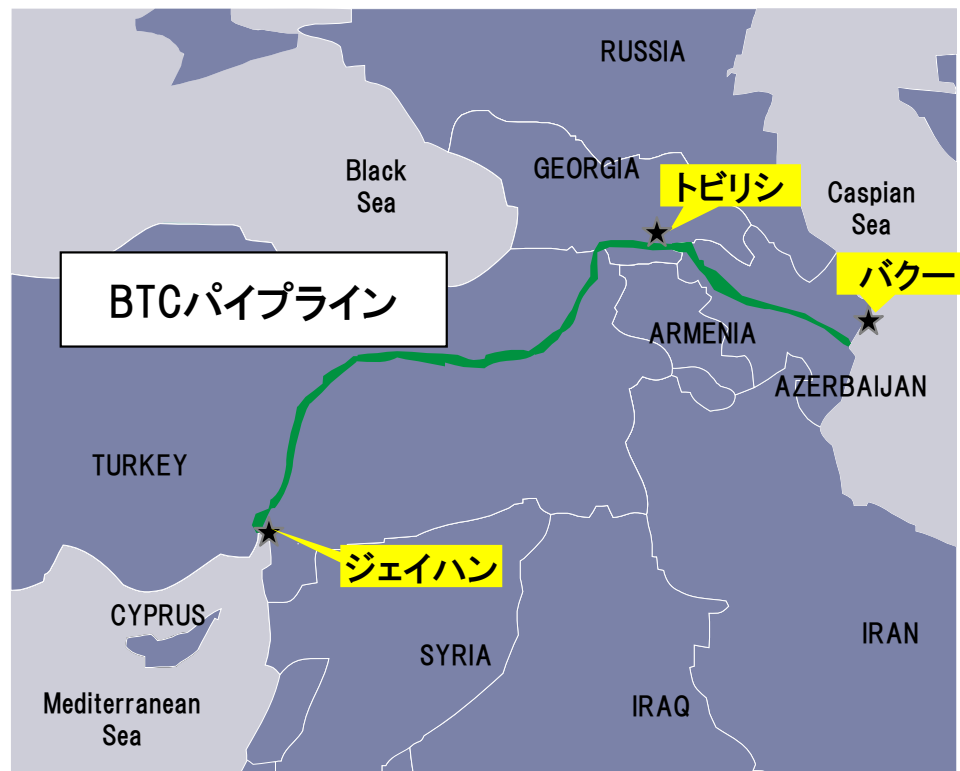
## カシャガン油田他 インペックス北カスピ海石油



- 当社権益比率: 8.33%(オペレーター:Eni)
- PS契約: 2021年末まで
- 2000年6月カシャガンにおいて原油発見、2004年4月までに試・探掘井7坑で原油を確認
- カシャガン油田以外にもカラムカス/アクトテ/カイラン/南西カシャガンの4構造にて炭化水素の存在を確認
- 2004年2月カシャガン開発計画のカザフスタン政府承認
  - 2008年に日量7万5千バレルで生産開始を予定、その後開発地域を広げ段階的に日量120万バレルまでの増産を計画



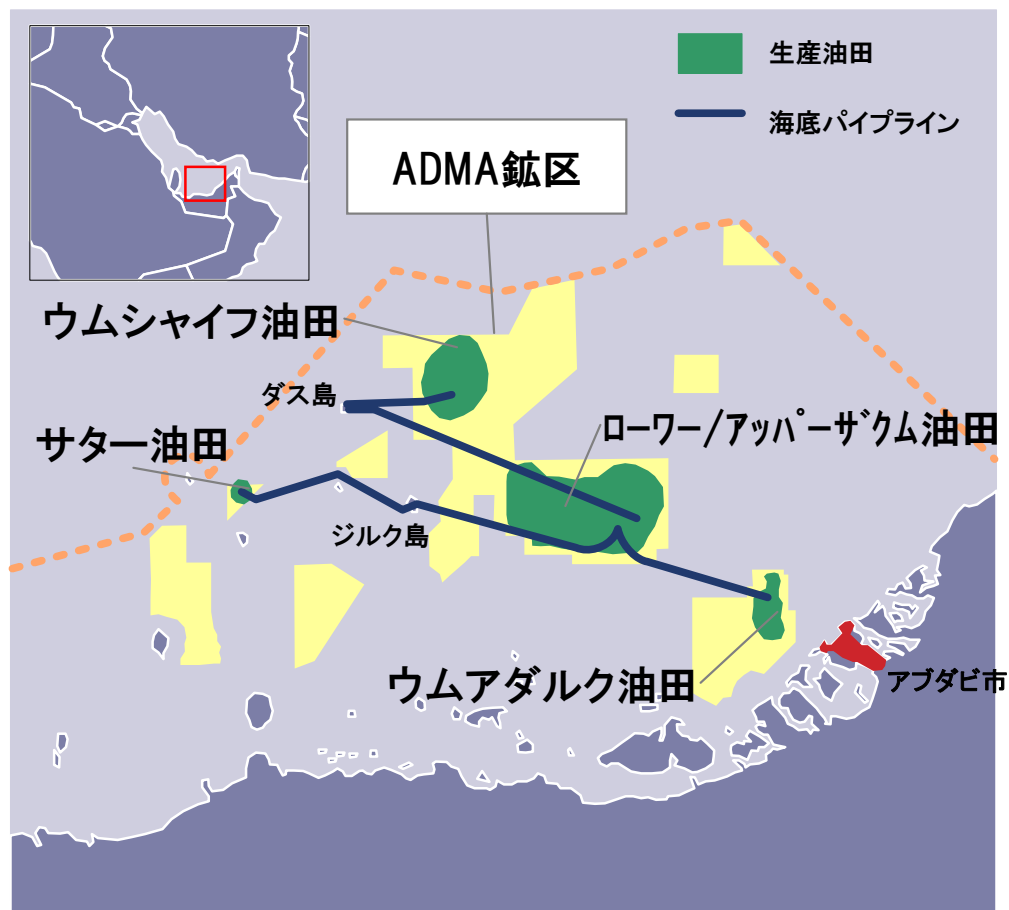
## BTC(BakuTbilisiCeyhan)パイプラインプロジェクト INPEX BTC Pipeline, Ltd.



- 当社権益比率:2.5%(オペレーター:BP)
- 2002年10月に操業会社BTC Co.の発行済み株式をINPEX BTC Pipeline, Ltd.が取得
- 2004年2月、パイプライン建設の資金調達を目的とするプロジェクトファイナンス契約調印
- 2006年6月、ジェイハンターミナルから原油出荷開始
- 2007年、輸送能力日量100万バレルを達成予定



## ADMA鉦区 ジャパン石油開発



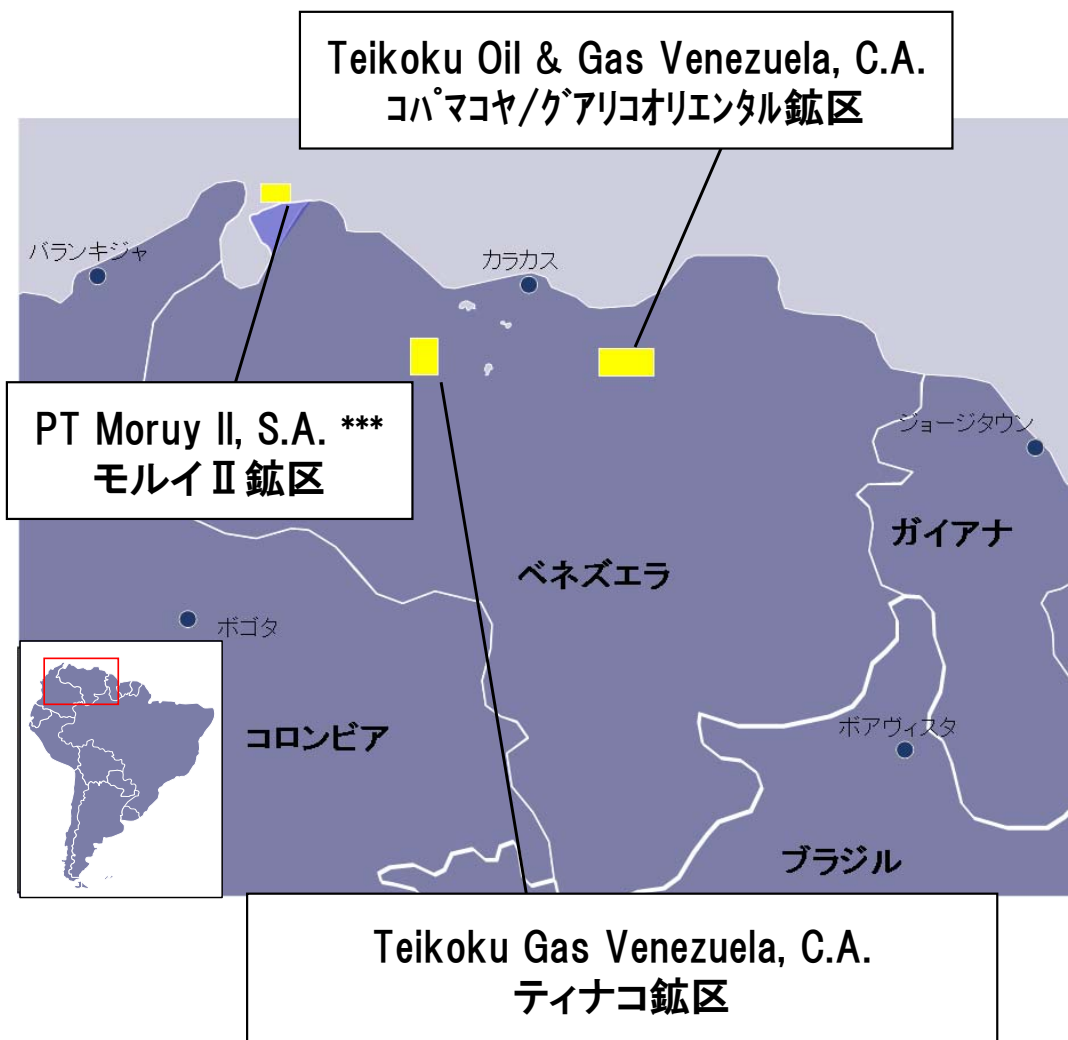
- ウムシャイフ/ローワーザクム
    - 当社権益比率: 12.0%(オペレーター: ADMA-OPCO\*)
  - アッパーザクム/ウムアダルク/サター
    - 当社権益比率:  
アッパーザクム/ウムアダルク 12.0%  
サター 40.0%(オペレーター: ZADCO\*)
- \*アブダビ国営石油会社とJODCOなどで設立した操業会社。JODCOから両社へそれぞれ12%を出資。
- 利権契約: 2018年まで(2006年3月の修正共同開発協定締結によりアッパーザクム油田の権益期限は2026年まで延長)
  - 生産量維持・拡大のため開発作業を継続中
    - 全油田で水圧入を実施
    - ウムシャイフ/ローワーザクムでガス圧入を実施

## アザデガン油田 アザデガン石油開発



- 当社権益比率:10%  
(イラン側と協議を継続中)
- サービス契約(バイバック契約)
- 油田開発プロジェクトは2段階\*
  - 開発第1段階として2009～10年に  
日量15万バレルに達する計画
  - 開発第2段階へ移行した場合、2013  
～14年に日量26万バレルの生産に  
達する見込み

# ベネズエラ プロジェクト Teikoku Oil & Gas Venezuela, C.A.ほか



## コパマコヤ/グアリコオリエンタル鉱区

- ガス・原油探鉱・開発・生産事業
- ジョイントベンチャー契約
  - 2006-2026年
- ジョイントベンチャー出資比率\*
  - ガス事業:70%、原油事業:30%
- 生産量\*\*
  - ガス:日量約81百万立方フィート
  - 原油:日量約1,900バレル

## ティナコ鉱区

- ガス探鉱事業
- 権益比率:50%(オペレーター:ペトロブラス)

## モルイⅡ鉱区

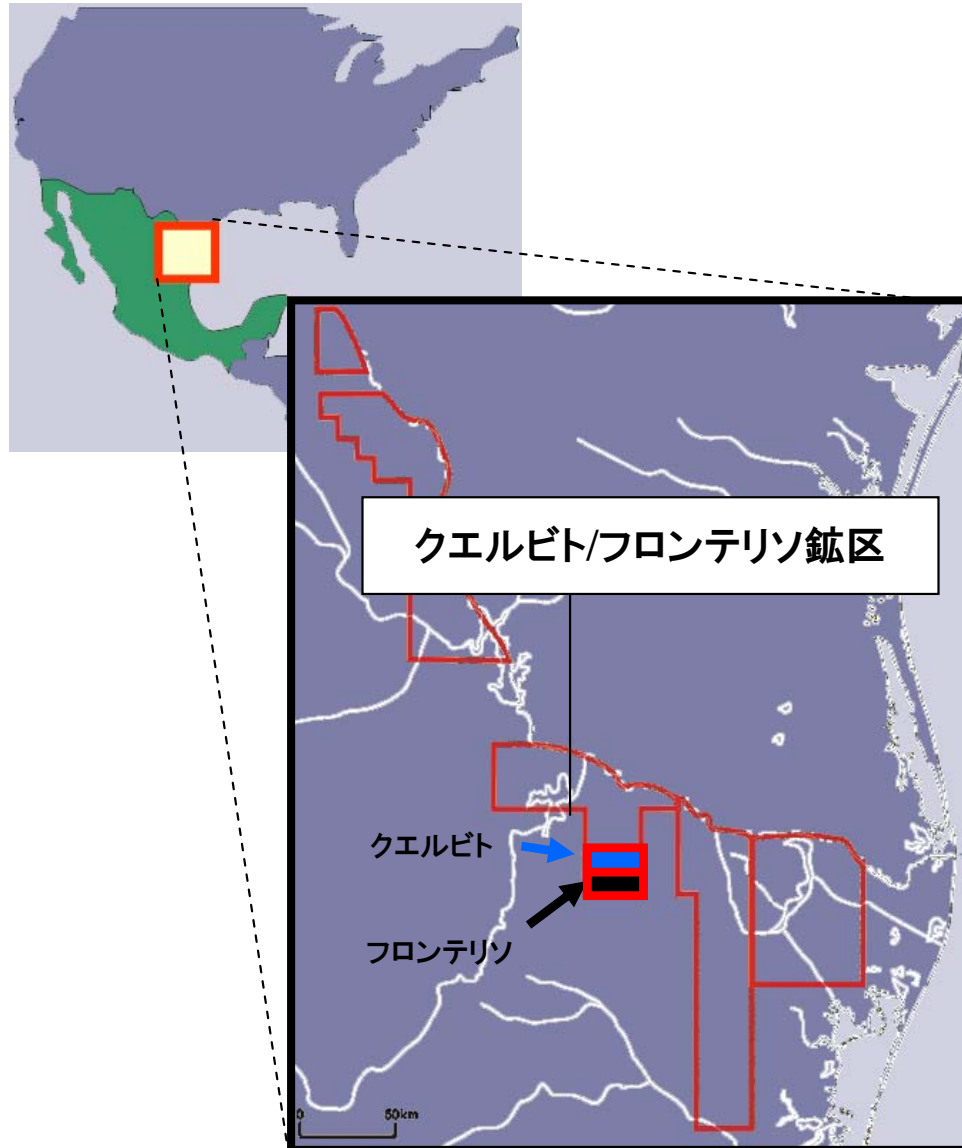
- ガス探鉱事業
- 権益比率:50%(オペレーター:ペトロブラス)
- 現在、震探取得に向けた準備作業実施中

\* 現在、ガス・原油両事業に関し、国営ガス会社・国営石油会社との共同操業会社設立手続中

\*\* 全鉱区ベース2006年9月平均日産量

\*\*\* ペトロブラスと当社50:50の共同出資によるJV

# クエルビト/フロンテリソ鉱区 テイコク・オイル・デ・ブルゴス\*



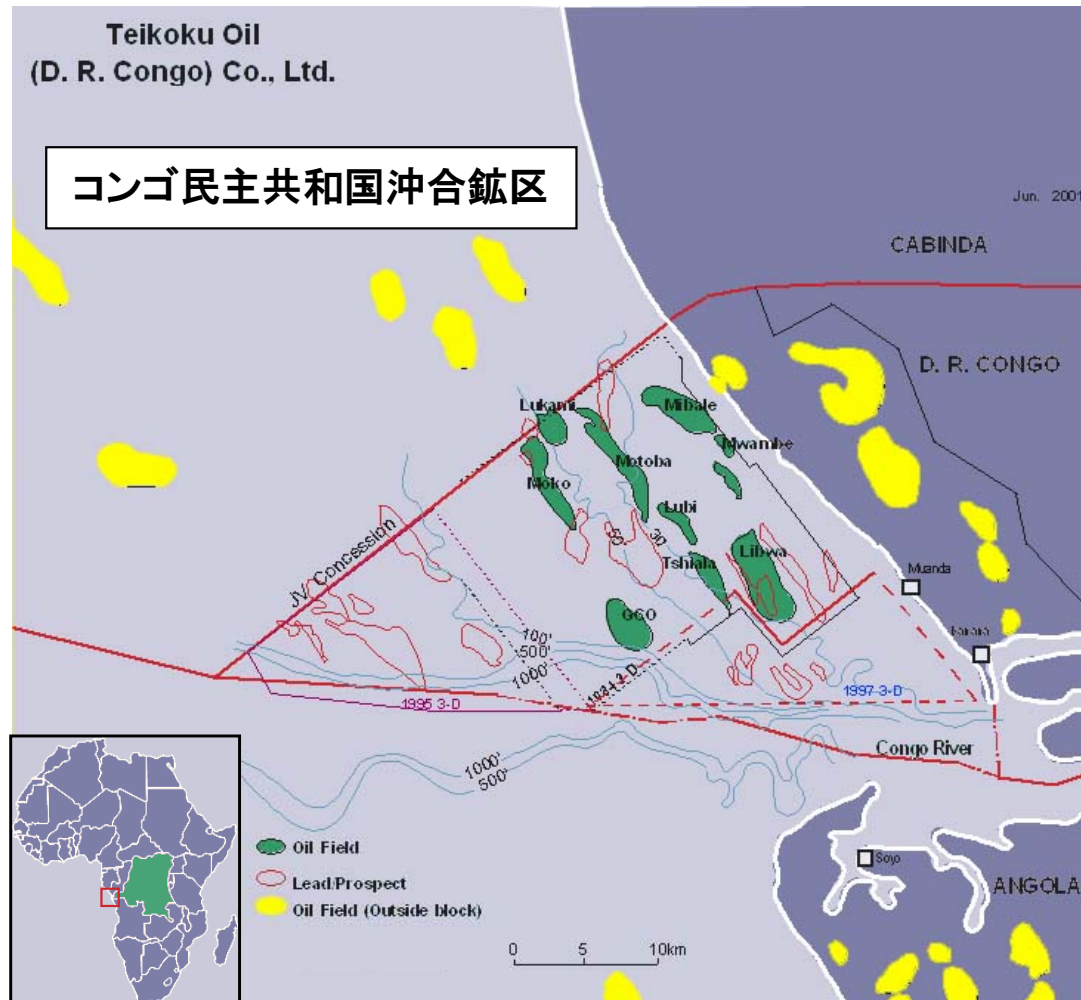
## クエルビト/フロンテリソ鉱区

- ガス開発事業
- サービス契約
- 権益比率:40%  
(オペレーター:ペトロブラス)
- 生産量\*\* :日量約27百万立方フィート

\* 当社株主シェア75%

\*\*全鉱区ベース2006年9月平均日産量

**コンゴ民主共和国沖合鉱区 帝石コンゴ石油**

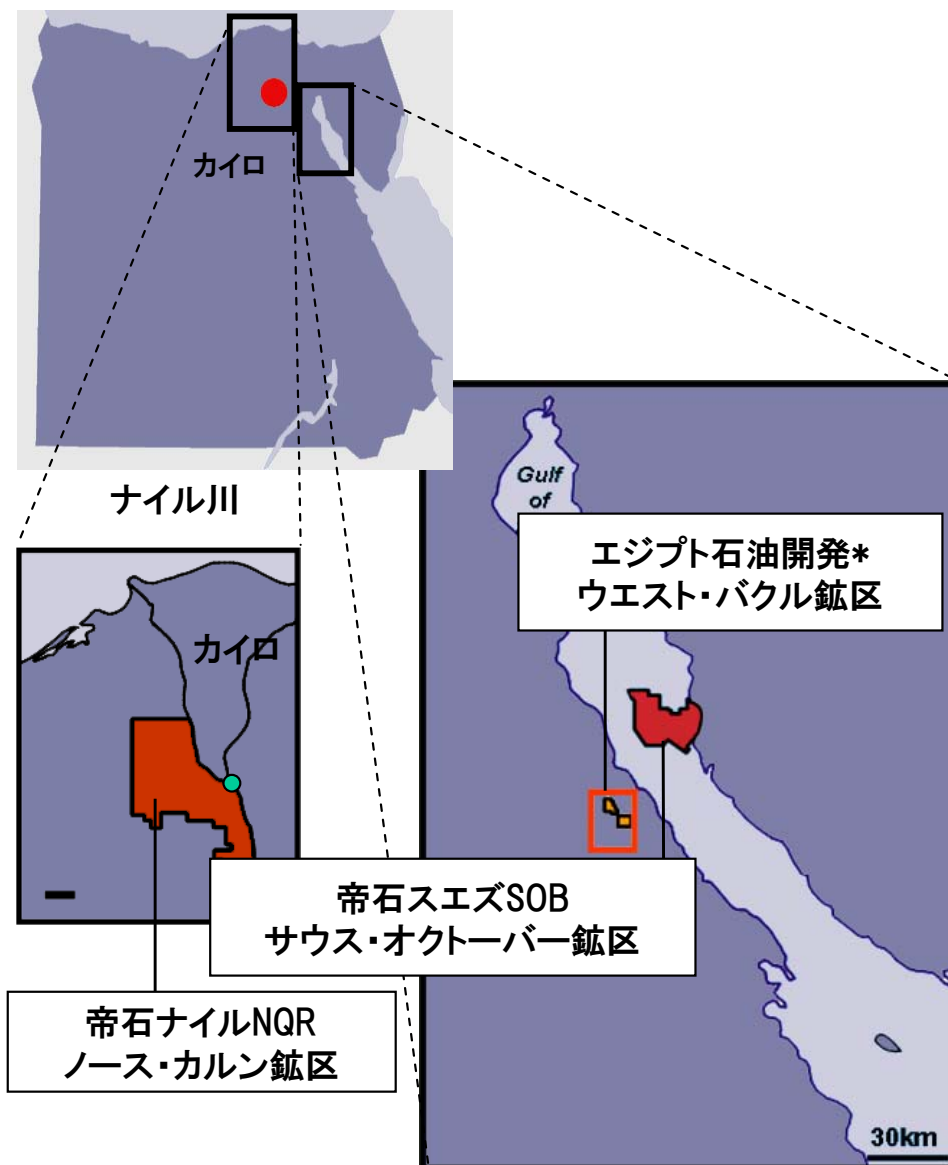


**コンゴ民主共和国沖合鉱区**

- 原油探鉱・開発事業
- コンセッション契約(1969-2023年)
- 権益比率:32.28%  
(オペレーター:ペレンコ)
- 生産開始:1975年
- 生産量\*: 日量約14,500バレル

\*全鉱区ベース2006年9月平均日産量

# エジプト プロジェクト エジプト石油開発\*ほか



## ウエスト・バクル鉱区

- 原油・ガス探鉱・開発事業
- PS契約(1975-2020年+5年延長オプション)
- 権益比率:100%(オペレーター)
- 生産開始:1980年
- 生産量\*\*: 日量約4,400バレル

## サウス・オクトーバー鉱区

- 原油・ガス探鉱事業
- 権益比率:35%(オペレーター:デボン)
- 義務作業(3年):3D地震探査(270 km<sup>2</sup>)、試掘2坑

## ノース・カルン鉱区

- 原油・ガス探鉱事業
- 権益比率:25%(オペレーター:デボン)
- 義務作業(3.5年):2D地震探査(550km)、試掘1坑

\* 当社株主シェア52.7%

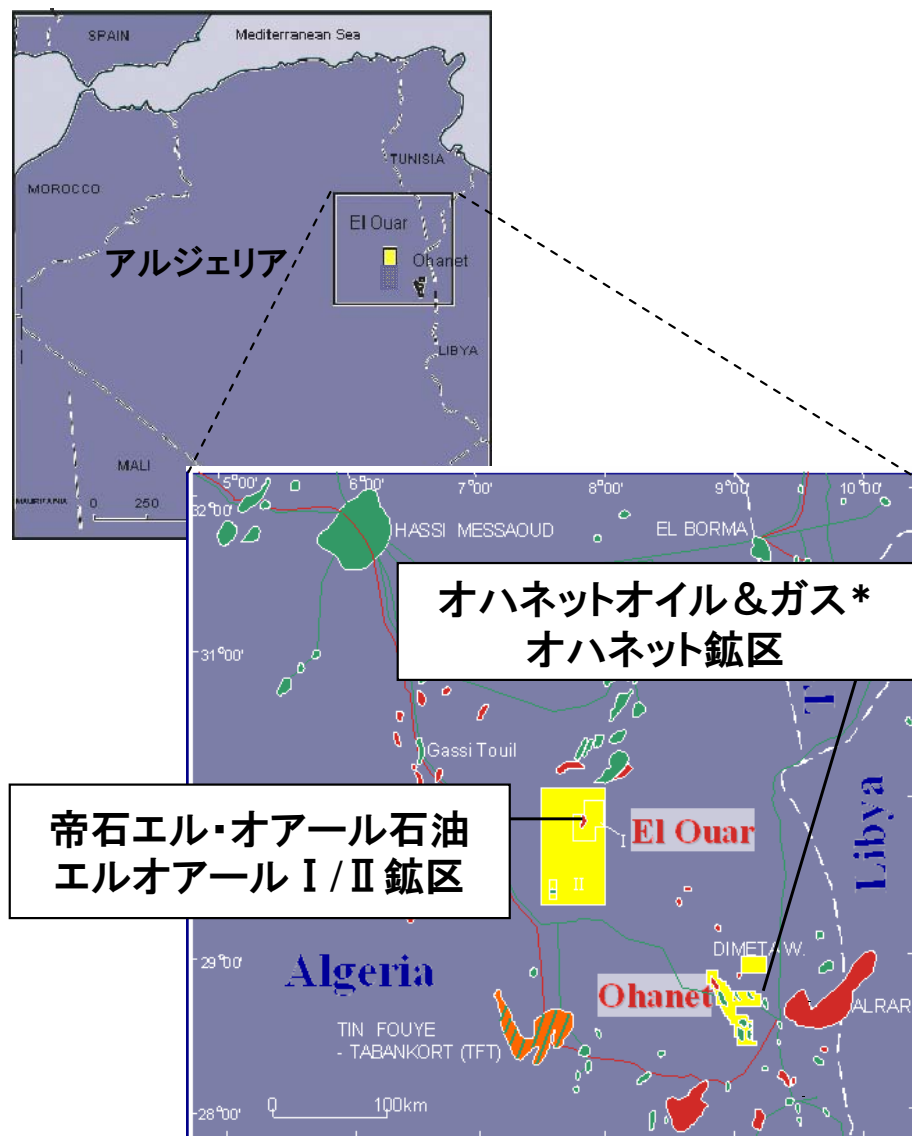
\*\*全鉱区ベース2006年9月平均日産量



# アルジェリア プロジェクト

オハネットオイルアンドガス\*(オハネット鉱区)

帝石エル・オアール石油(エル・オアール I / II 鉱区)



## オハネット鉱区

- ガス開発事業
- リスクサービス契約(2000-2011年)
- 権益比率:30%(オペレーター:BHPB)
- 生産開始:2003年10月
- 生産量\*\*
  - ドライガス:日量約579百万立方フィート
  - コンデンセート:日量約26,500バレル
  - LPG:日量約2,100トン

## エル・オアール I / II 鉱区

- 原油・ガス探鉱・開発事業
- コンセッション契約
- 周辺鉱区との共同開発を含めたガス・コンデンセート田の開発移行につき検討中
- 権益比率:10.29%(オペレーター:ENI)

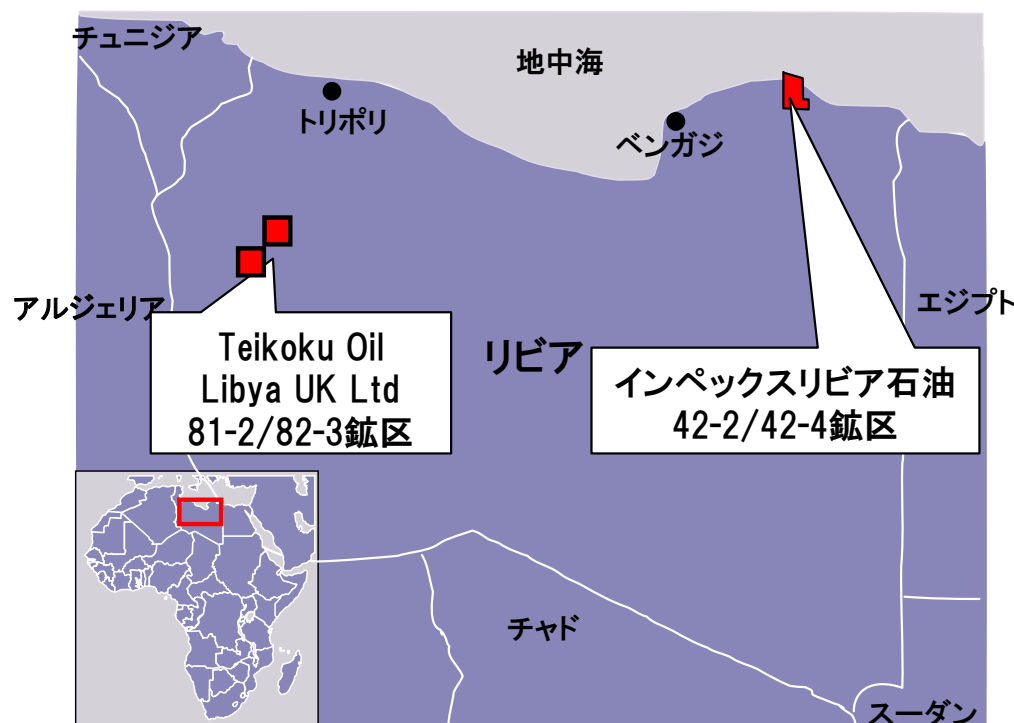
\* 当社株主シェア15%

\*\*全鉱区ベース2006年9月平均日産量

# リビア プロジェクト

Teikoku Oil Libya UK Ltd

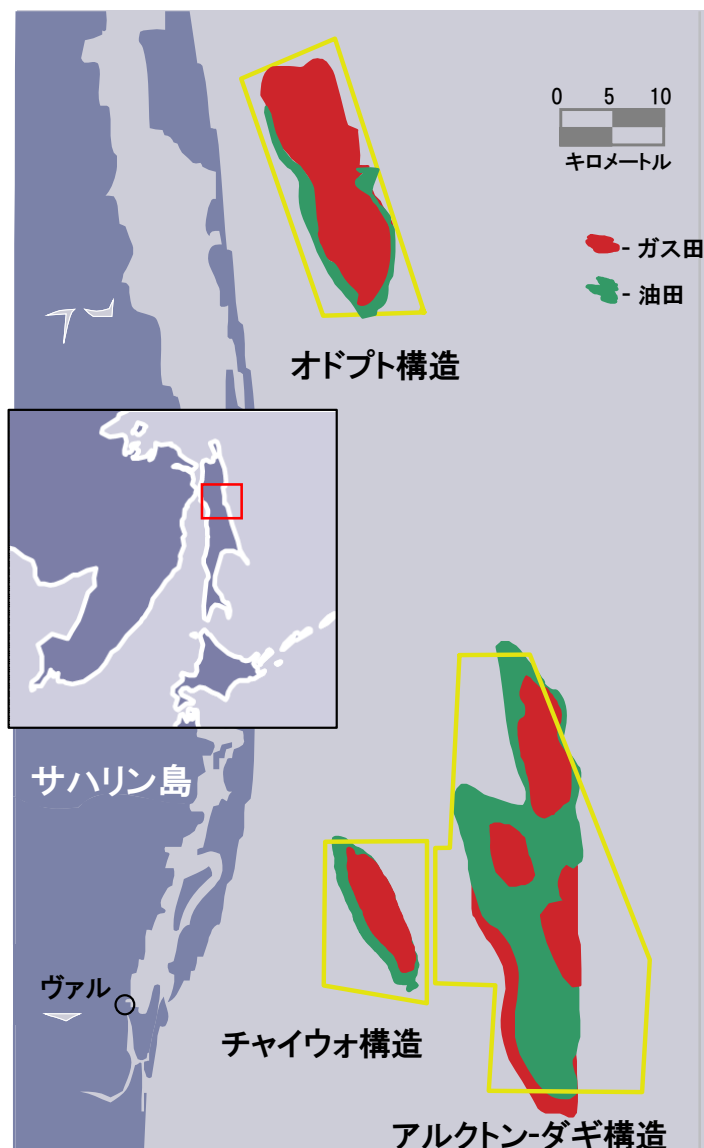
インペックスリビア石油



- 原油・ガス探鉱事業
- PS契約(探鉱期間5年間)
- 権益比率
  - 81-2/82-3鉱区:73%(オペレーター)
  - 42-2/42-4鉱区:40%(オペレーター: TOTAL)
- 現在、震探取得作業実施中(81-2/82-3鉱区)
- 2008年より試掘作業実施予定
- 新規入札ラウンドへむけ協力体制を強化



# サハリン I プロジェクト サハリン石油ガス開発



- サハリン石油ガス開発(SODECO):  
当社グループが5.75%の株式を保有  
(石油公団が保有していた50%の株式は経済産業大臣が承継し、当社は諸条件が整えば、最大33%まで取得する方向で調整中)
- SODECOの権益比率  
— サハリン I : 30.0%
- オペレーター: ExxonMobil
- パートナー: ONGCヴィデッシュ、サハリンモルネフテガス・シェルフ、RNアストラ
- PS契約: 2001年12月、プロジェクトの「商業性宣言」がロシア政府より承認され、20年間の開発期間に移行
- 2005年10月生産開始、2006年10月原油輸出開始
- 天然ガスのロシア国内供給を開始、さらに中国等へ輸出を検討中

## グループ主要出資先会社

会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	出資比率	ステージ
<b>日本</b>				
帝国石油	南長岡ほか*	日本	—	生産中
<b>東南アジア/オセアニア</b>				
国際石油開発(INPEX)	マハカム沖鉱区	インドネシア	—	生産中
ナトゥナ石油	南ナトゥナ海B鉱区	インドネシア	100%	生産中
MI Berau B.V.	ベラウ鉱区(タンゲーLNG)	インドネシア	44%	開発中
インペックスマセラアラフラ海石油	マセラ鉱区(アバディ)*	インドネシア	51%	開発検討中
サウル石油	バユ・ウンダン	チモール海共同開発地域	100%	生産中
インペックス西豪州ブラウズ石油	WA-285-P鉱区(イクシス)*	オーストラリア	100%	開発検討中
<b>中東</b>				
ジャパン石油開発	ADMA鉱区(アッパ-ザクム油田等)	アラブ首長国連邦	100%	生産中
アザデガン石油開発	アザデガン油田	イラン	100%	開発中
<b>カスピ海沿岸</b>				
インペックス南西カスピ海石油	ACG油田	アゼルバイジャン	51%	生産中
インペックス北カスピ海石油	カシャガン油田	カザフスタン	45%	開発中
<b>中南米</b>				
テイコク・オイル・アンド・ガス・ベネズエラ	コパマコヤ*/グアリコオリエンタル	ベネズエラ	100%	生産中
テイコク・オイル・エクアドル	B18**/B31鉱区**	エクアドル	100%	生産中(B31:開発中)
テイコク・オイル・デ・ブルゴス	クエルビト/フロンテリソ鉱区	メキシコ	75%	生産中
<b>アフリカ</b>				
帝石コンゴ石油	コンゴ民主共和国沖合鉱区	コンゴ民主共和国	100%	生産中
エジプト石油開発	ウエスト・バクル鉱区*	エジプト	52.7%	生産中
オハネットオイルアンドガス	オハネット鉱区	アルジェリア	15%	生産中
帝石エル・オアール石油	エル・オアール I / II 鉱区	アルジェリア	100%	開発検討中

注: \*オペレータープロジェクト

\*\*権益移転に係る政府承認手続中であり、当該契約は政府承認を得た後、正式に発効する予定であります。

## 主な石油契約の概要①

鉱区	国・地域	石油契約
マハカム沖／アタカユニット	インドネシア	PS契約
南ナトウナ海B	インドネシア	PS契約
ベラウ(タンゲー)	インドネシア	PS契約
マセラ(アバディ)	インドネシア	PS契約
JPDA03-12(バユ・ウンダン)	チモール海共同石油開発地域	PS契約
WA-10-L(グリフィン油田群)	オーストラリア	コンセッション契約
WA-285-P(イクシス)	オーストラリア	コンセッション契約
北カスピ海沖合(カシャガン他)	カザフスタン	PS契約
ACG油田	アゼルバイジャン	PS契約
ウムシャイフ／ローワーザクム／ アッパーザクム油田等	アラブ首長国連邦	コンセッション契約
アザデガン油田	イラン	サービス契約

## 主な石油契約の概要②

鉱区	国・地域	石油契約
コパマコヤ/グアリコオリエンタル B18*/B31*	ベネズエラ	ジョイントベンチャー契約
クエルビト/フロンテリソ	エクアドル	コンセッション契約
コンゴ民主共和国沖合	メキシコ	サービス契約
ウエスト・バクル	コンゴ	コンセッション契約
オハネット	エジプト	PS契約
エル・オアール I / II	アルジェリア	リスクサービス契約**
	アルジェリア	コンセッション契約

\*権益移転に係る政府承認手続中であり、当該契約は政府承認を得た後、正式に発効する予定であります。

\*\*リスク付き開発請負契約

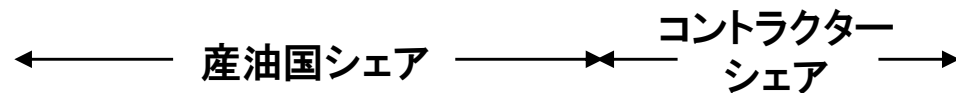
その他

# 生産分与契約



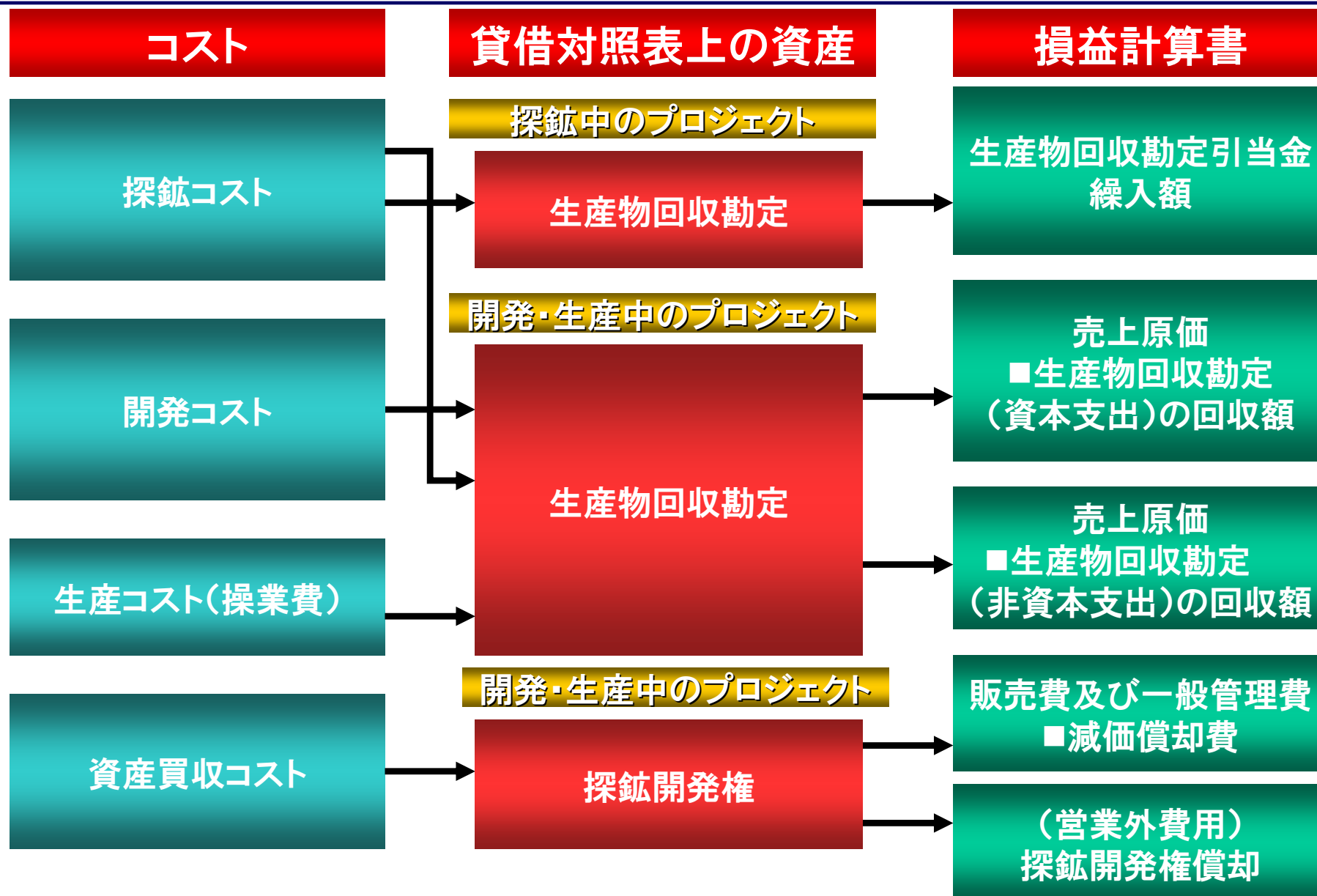
1. 作業費回収額
- 非資本支出の当該期回収額
  - 資本支出の当該期回収額
  - 前期以前に発生し回収されなかったコスト

2. 利益配分原油

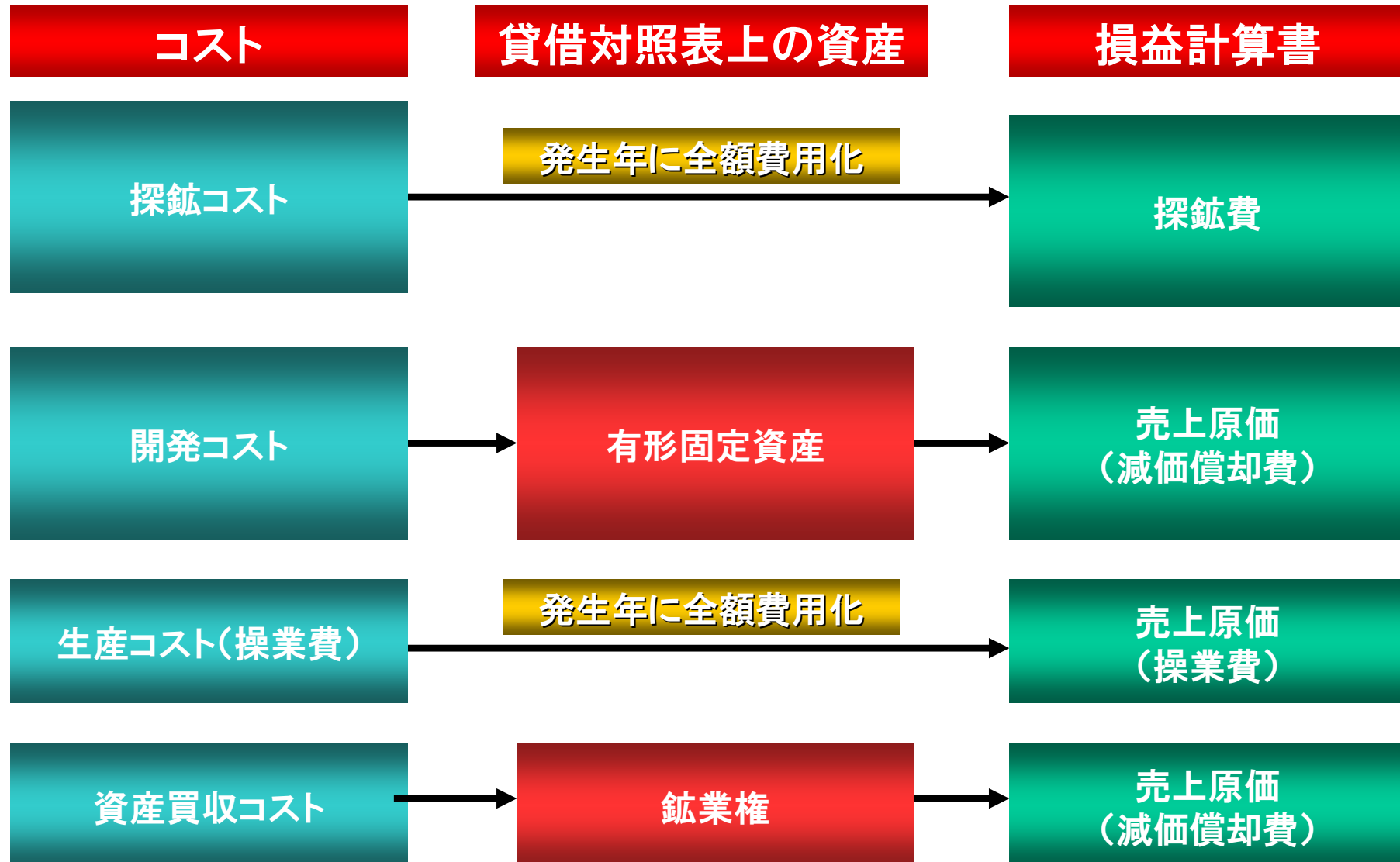


- : 産油国取分
  - : 課税対象
  - : 課税対象ではない
- } コントラクター取分

# 生産分与契約に係る会計処理

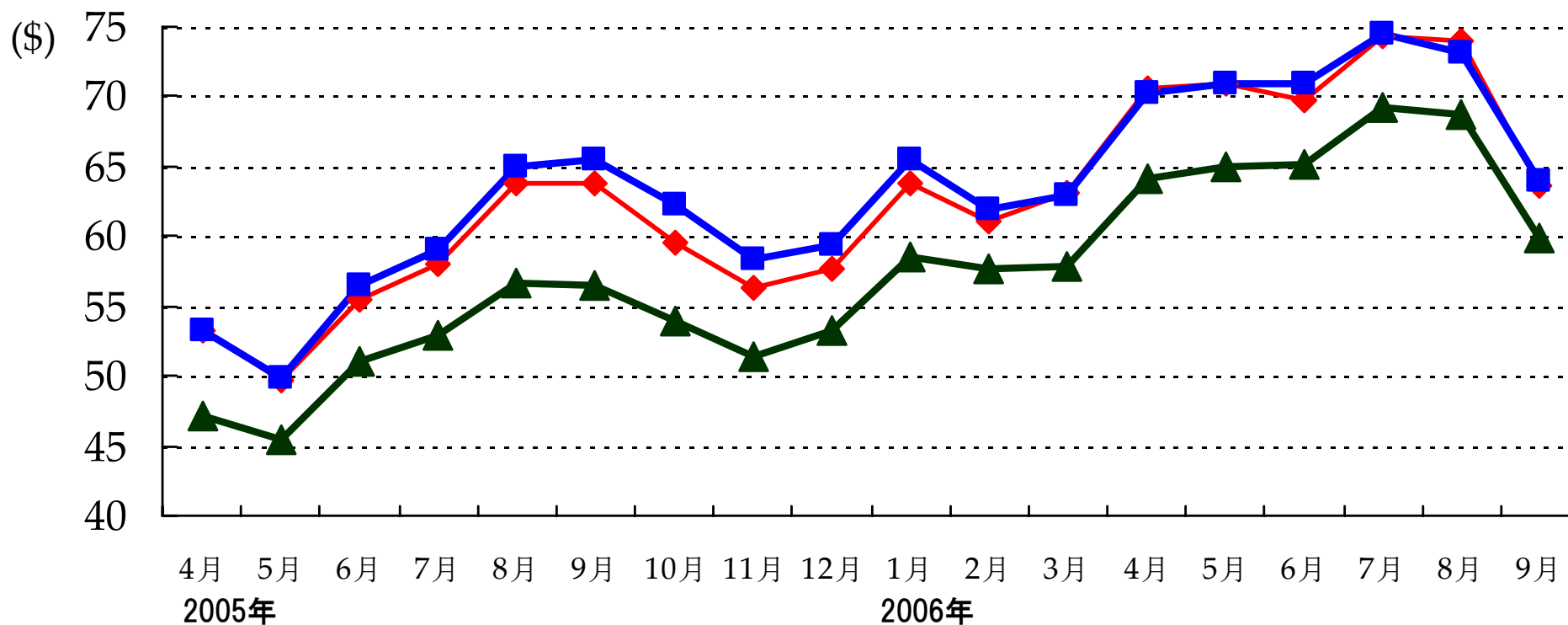


## コンセッション契約に係る会計処理





# 油価の推移



◆ Brent ■ WTI ▲ Dubai

	2005年 4月～9月	2005年4月～ 2006年3月	2006年						4月～9月
	平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
Brent	57.32	58.78	70.54	70.98	69.78	74.26	73.90	63.64	70.52
WTI	58.18	59.96	70.16	70.96	70.97	74.46	73.08	63.90	70.59
Dubai	51.61	53.50	64.14	65.00	65.22	69.17	68.77	59.82	65.35

\*BrentはIPE、WTIはNYMEX、DubaiはPlatt'sのデータ。